

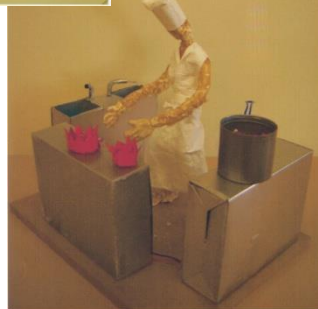
12年後のわたし

～各教科・領域などの関連を活かして～

- めあて
- ・将来の自分や自分の夢を形にする。
 - ・自分の夢の内容が分かるように工夫して立体にする
- 準備物
- ・紙粘土、アルミ針金、ワークシート（教師）
 - ・箱、色紙、木、割り箸、モール、毛糸、布など（児童）



先生、宇宙飛行士、パン屋、カウンセラー、会社員、シェフなど



学習の流れ	実践上の留意点
<p>○自分の夢についてのスピーチをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合や国語科・社会科・道徳などとの関連を活かし、自分の将来について考えたことをもとにして発想させる。（事前に自分のなりたい職業やその内容について調べておくとよい。）
<p>○自分が12年後どうなっているかを想像し立体に表す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を立体にするための芯の作り方についてはきちんと説明しておく。 ・自分の表したい内容をいろいろな材料で工夫させる。
<p>○おさんぽセッション（中間鑑賞会）を行い、友達のよさやおもしろさを共有したり、楽しんだりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を活かした交流となるようにし、さらに発想がひろがるように支援する。
<p>○『12年後のわたし ～タイムマシンに乗って～』の展示会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品とともに、将来の夢やなりたい自分、職業についての作文を書くなどし、統合的な単元とすると深まりが期待できる。